

---公益財団法人先端医療振興財団 医薬品開発研究グループ---

## セミナーのご案内

# ユビキチン E3 リガーゼ Nedd4-2 による 神経回路活性の制御機構

**講演者：川辺 浩志 博士**

医薬品開発研究グループ・客員上席研究員

神戸大学大学院医学研究科病態シグナル学・客員教授

**日時：2017年9月20日(水)17:00～18:30**

**場所：神戸ハイブリットビジネスセンター2階**

(神戸市中央区港島南町6丁目7-6)

ユビキチン化はタンパク質のホメオスタシスに重要な翻訳後修飾で、その特異性は E3 リガーゼによって決定される。ヒトゲノムには約 600 種類の E3 リガーゼがコードされているが、その中でも Nedd4-2 は遺伝性てんかんの原因遺伝子として報告されており、神経回路活性の制御因子であることが考えられてきた。最近、私共は Nedd4-2 ノックアウトマウスを使い、比較定量的質量分析で Nedd4-2 の基質タンパク質を同定した。本演題では、Nedd4-2 が、新たに同定された基質タンパク質のユビキチン化を介して、いかにして神経回路活性を制御するのかを生化学的、電気生理学的データを基に説明したい。

お問合せ：先端医療センター研究所 医薬品開発研究グループ 078-303-3682